



校長室だより

月立小学校 校長 村上克弥
平成31年1月30日
☎55-2260 第10号

教育目標

ふるさとに誇りをもち
夢と希望に満ちた
心豊かでたくましい児童の育成



子は宝，鍛えてかがやかせる

あけましておめでとうございます

保護者・地域の皆様，心より新春のお慶びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

大震災からもうすぐ8年になりますが，去年は，立て続けに大きな災害が日本列島をおそいました。今年も，災害のない年であってほしい。新しい元号になるなど世の中の経済も上向きになることを期待したい等，新年を迎え，家庭でも夢と希望を語り合えたのではないのでしょうか。一人一人が抱く小さな夢から大きな夢まで，夢の実現に向かって誰もががんばれるよう祈っております。本年も皆様方の力添えをいただきながら，一人一人の子どもたちの健やかな成長を願って「つ」（強い心と体に挑いどむ子）「き」（気持ちよくはたらく子）「だ」（だれにでもやさしい子）「て」（ていねいに学ぶ子）目指して，日々の教育活動に努めてまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。

さて，新年にあたり，月立小学校の子どもたちの健やかな成長を願ひ，万葉の歌人，山上憶良の歌を紹介します。

「銀(しろがね)も 金(くがね)も玉も なにせむに
まされる宝 子にしかめやも」

この世の中でもっとも貴いものは銀や金や宝であると言われているが，それよりもっと大切な宝は子どもである。という内容だそうです。解釈は様々ですが，子どもを大事にするということにはかわりません。

ただ，「宝だから価値がある。なにもしなくてよい。」と考えて目をかけず，手をかけず，心をかけないでいると，もともと備わっている「素直さ」「よさ」「すばらしさ」が発揮されなくなってしまう。それどころか，曲がったり，埋もれてしまったり，くすんでしまったりしてしまいます。ですから，大人が子どもに寄り添い励ましていくことや，子どもの世界で鍛えられるようにしてあげることが大切なのです。「子どもを育てる・宝を光り輝かせる」これは保護者，地域そして学校教育なのだと思います。これからは，輝きのある素直な子どもを育てていきたいと考えております。



【校内席書大会より】